

インパテック株式会社

特許マップ作成支援ソフト 特許マップEXZ

本社住所	〒 430-0803 静岡県浜松市東区植松町 1487-1
URL	https://www.inpatec.co.jp/
担当部署	営業部
問い合わせ先	T E L 053-465-3555 F A X 053-411-0195 E-mail info@inpatec.co.jp

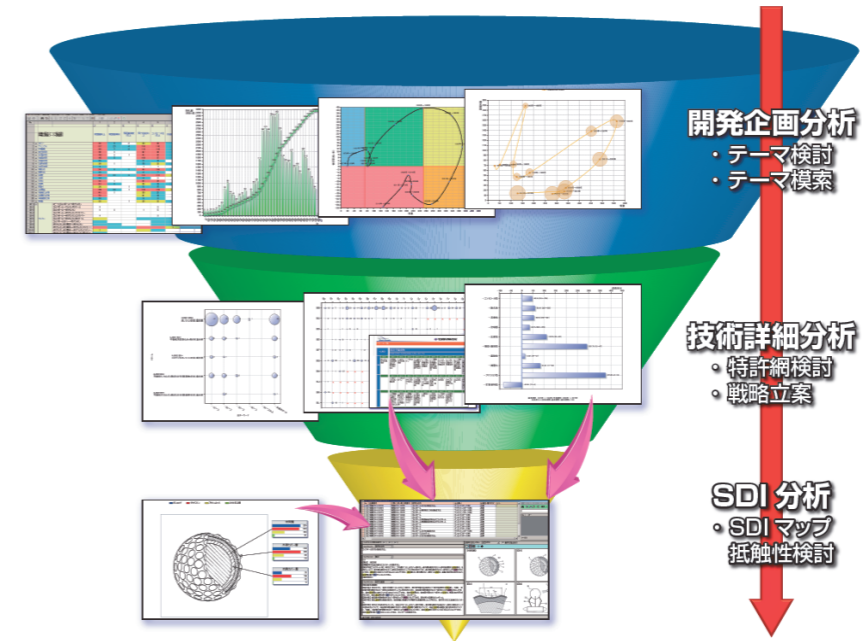
○「特許マップEXZ」
特許マップ作成のための総合ソフトです。
多数の電子化された特許情報を集計して視覚的にマップを作成しながら詳細把握へと誘導する機能と、逆に個々の特許情報に社内キーワード、分類コード等のデータを付与する事によって読み込んだ情報を使ったマップを作成表示する機能の2面を有しております。動向解析、群管理、マニュアル調査支援、評価値計算などの機能を搭載し日本語、英語、中国語のキーワード抽出、他言語は書誌事項に対応しております。
○特許マップ受託サービス
業界のトレンドは何なのか？ 自社の立ち位置はどこにあるのか？ 他社に勝ち得る開発/事業化の方法は？ 競合他社の次の一手は？ 弊社の特許解析受託サービスは、必要な解析プランのご提示 / 「特許マップEXZ」「テキストマトリクスチャート」等の弊社ソフトを利用した特許マップの作成 / 解析調査員によるコメント付与等を行い、お客様の抱えている課題を解決します。

機能詳細

データ	解析対象	日本/米国/欧州/PCT/中国/韓国/独国/仏国/台湾/露国/伯国						
	入力方法	他検索システム等との連携 / CSV形式 / Excel形式						
	処理可能最大案件数	推奨約3万件	特徴	処理最大件数制限 60万件				
タの編集機能	検索(絞込み)機能	可	特徴	書誌情報やキーワード等、取り込んだ情報で自由に多角的に可能				
	データの追加・修正・削除	可	特徴	更新、追加、修正、削除可能				
	その他の編集機能	可	特徴	名寄せ、同義語処理、グループ化、独自分類の付与、辞書機能、支援機能有				
解析項目	出願人	解析可	上限	無	上限値	0	備考	名寄せ、グループ化
	発明者	解析可	上限	無	上限値	0	備考	名寄せ、グループ化
	IPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考	分類説明文表示機能
	FI	解析可	上限	無	上限値	0	備考	分類説明文表示機能
	CPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考	分類説明文表示機能
	技術用語	解析可	上限	無	上限値	0	備考	同義語処理、グループ化
	その他項目・項目の任意追加	キーワード・Fターム・日付・番号・引用文献・自社分類コード等 任意追加可能						
特許文庫・参考文献サポート	有	特徴	(公報記載の文献情報の展開について)					
引用文献サポート	有	特徴	(拒絶理由の引用文献の展開について)					
特許価値評価機能	有	特徴	標準テンプレート有 任意設定可能					
AI活用サービス	有	特徴	パートナーとの協賛で提供予定					
帳票出力	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	ExcelまたはCSV連携で可能				
	独自の作図機能の特徴	二次マップの作成が容易に可能。また、特定の特許情報を選択し、リストを作成可能						
データ出力	CSV出力	可	特徴	作成したマップのリストや、作成した集合の結果等をCSV出力				
	解析結果データの互換性	有	特徴	パワーポイント貼り付けなど				
	用語切り出し&索引化機能	有	特徴	要約、請求の範囲等長い文章から、技術用語を切り出す事が可能です。日本語以外に、英語、中国語のキーワード切り出しも可能です。				
その他の機能	IPCやFI分類の日本語説明文表示機能、特許評価値計算機能、独自分類、グループ作成機能、日本語以外にも英語、中国語キーワード切り出し機能、コーディング機能、キーワード自動仕分け機能 等を有する。また、簡易版 PatEasyZ、姉妹ソフト テキストマトリクスチャートとの互換性あり。							
他との連携	検索・DBシステム	可	種類	Shareresearch Cyber Patent Desk PatentSQUARE PatentWeb CAplus Orbit Intelligence Derwent Innovation(DII) PatSnap 等				
	分析ツール	可	種類	その他・特記事項等				

多数の特許情報を集計して視覚的に表示する機能と特定部分の技術内容を詳細に把握することができる機能を有しております。本ソフトを利用すれば研究開発の「企画・解析・分析・管理」が一連の流れとして処理できます。

大局から詳細把握まで



新機能

英語の課題カテゴリ抽出、分析が可能に

WikiDict.解決語(Material)*課題語件数マトリクスマップ

WikiDict.は有料オプション機能です

課題語

導入用情報

動作環境	OS	Windows 10、Windows 11
	その他	必要ソフト: Microsoft .Net Framework 4.5.2、Excel (2016以上 もしくは Microsoft 365ダウンロード版 (Excel 出力する場合))
	関連ソフト	DataAcross、PatEasyZ、テキストマトリクスチャート
サポート体制		AM9:00 ~ PM6:00
費用	導入費	初期導入費用 1,020,000円(税別)から。詳細は、お問い合わせください。
	ランニングコスト	保守費用 120,000円(税別)/年から。詳細は、お問い合わせください。
その他	その他	
その他・特記事項等		

インパテック株式会社

課題解決分析ソフト テキストマトリクスチャート

本社住所	〒430-0803 静岡県浜松市東区植松町 1487-1
URL	https://www.inpatec.co.jp/
問い合わせ先	担当部署 営業部 TEL 053-465-3555 FAX 053-411-0195 E-mail info@inpatec.co.jp

独自の言語解析・情報抽出技術を用いて、各特許の特徴となる技術課題と解決策を特許明細書から理解しやすい短い文書（課題カテゴリ、解決カテゴリ）へ分類します。従来、手作業で行っていた課題と解決分析の作業を削減し、技術分析の迅速化を目指した課題解決分析ツールです。

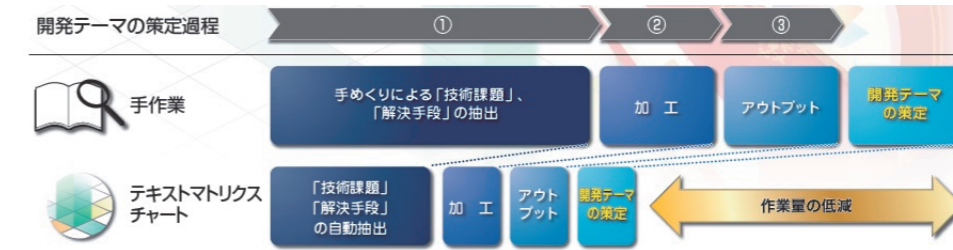
【特徴】

- 膨大な特許明細書等の特許情報から自動的に課題語、解決語を抽出
- ユーザ独自の課題文・解決文の分類定義が可能
- 課題文・解決文が特許明細書のどこから抽出されたのかをハイライト表示
- 研究・開発部門では、技術者の特許を把握し仕分けするなどの工数削減に寄与

機能詳細

データ	解析対象	日本						
	入力方法	CSV形式 / Excel形式						
	処理可能最大案件数	推奨約1000件	特徴					
タの編集機能	検索（絞込み）機能	可	特徴	書誌情報やキーワード等、取り込んだ情報で自由に多角的に可能				
	データの追加・修正・削除	可	特徴	特許情報を追加する機能や、後から追加したい項目のみを追加する機能有り。また、修正や削除も容易に可能。				
	その他の編集機能	可	特徴	名寄せ、同義語処理、グループ化、独自分類の付与、辞書機能有				
解析項目	出願人	解析可	上限	無	上限値	0	備考	名寄せ、グループ化
	発明者	解析可	上限	無	上限値	0	備考	名寄せ、グループ化
	IPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考	分類説明文表示機能
	FI	解析可	上限	無	上限値	0	備考	分類説明文表示機能
	CPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考	分類説明文表示機能
	技術用語	解析可	上限	無	上限値	0	備考	
	その他項目・項目の任意追加	課題カテゴリ、解決カテゴリの他に元データにあるものは解析可能						
特許文献・参考文献サポート	無	特徴						
引用文献サポート	無	特徴						
特許価値評価機能	無	特徴						
AI活用サービス	無	特徴						
帳票出力	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	弊社のソフトより出力したCSVを利用して作成する事が可能				
	独自の作図機能の特徴	課題カテゴリまたは解決カテゴリの各上位カテゴリ作成による分析も可能						
データ出力	CSV出力	可	特徴	作成したマップのリストや、作成した集合の結果等をCSV出力する事が可能				
	解析結果データの互換性	有	特徴	CSV出力した結果を集約することが可能				
	用語切り出し&索引化機能	有	特徴	課題カテゴリ、解決カテゴリの独自切り出し機能を有しております。				
その他の機能								
他のシステムとの連携	検索・DBシステム	可	種類	Shareresearch CyberPatent PatentSQUARE 等				
		その他・特記事項等						
	分析ツール	不可	種類					
		その他・特記事項等						

特許明細書に記載された特許情報の中から、独自の言語解析・情報抽出技術と、特許特有の表現パターンルールを用いて、各特許の特徴となる「技術的課題」と「解決手段(解決策)」を、理解しやすい単語や短文としてスピーディーに自動抽出し、「技術的課題」と「解決手段(解決策)」に分類します。



「技術課題」と「解決手段」を自動抽出

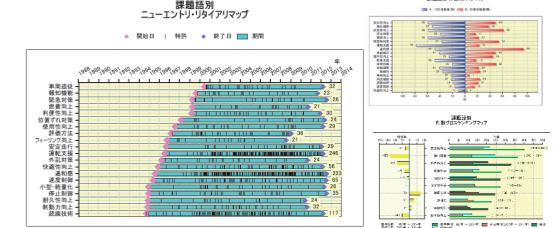
自動抽出された課題	自動抽出された解決																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>課題カテゴリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→フィーリング向上</td></tr> <tr><td>2</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→検出性能向上</td></tr> <tr><td>3</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→車間距離対策</td></tr> <tr><td>4</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→制御の最適化</td></tr> <tr><td>5</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→速度制御</td></tr> <tr><td>6</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→補正制御機能</td></tr> </tbody> </table>	No.	課題カテゴリ	1	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→フィーリング向上	2	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→検出性能向上	3	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→車間距離対策	4	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→制御の最適化	5	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→速度制御	6	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→補正制御機能	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>解決カテゴリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→禁止</td></tr> <tr><td>2</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→検出機能</td></tr> <tr><td>3</td><td>駆動装置の関連制御、車両の運動制御→撮像</td></tr> </tbody> </table>	No.	解決カテゴリ	1	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→禁止	2	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→検出機能	3	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→撮像
No.	課題カテゴリ																						
1	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→フィーリング向上																						
2	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→検出性能向上																						
3	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→車間距離対策																						
4	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→制御の最適化																						
5	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→速度制御																						
6	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→補正制御機能																						
No.	解決カテゴリ																						
1	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→禁止																						
2	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→検出機能																						
3	駆動装置の関連制御、車両の運動制御→撮像																						
<p>課題取得対象</p> <p>従来装置では先行車の位置情報としては車間距離だけを検出し、この車間距離に基づいて走行制御を行っているため、先行車がストップランプを点灯しているものの減速度が小さい場合に、この減速度を検出するまでの時間遅れから車間距離を目標値とするための車間制御による加速を続け、運転者の運転感覚に合わず制御が行われる。</p>	<p>解決取得対象</p> <p>先行車の位置情報を検出する位置情報検出手段と、自車の進行方向前方の画像を撮像する撮像手段と、上記画像から先行車の運転操作情報を検出する運転操作情報検出手段と、上記画像から先行車の走行レーンを検出し、上記先行車の走行レーンと自車の走行レーンと比較し、その比較結果と先行車の運転操作情報に基づき加速の制御を行う制御手段とを有し、前記制御手段は、先行車が自車の走行レーン上にあり、上記先行車のストップランプオンかつウインカオンで加速を許可し、上記先行車のストップランプオンかつウインカオフで加速を禁止することを特徴とする走行制御装置。</p>																						

技術課題、解決手段のアウトプット(可視化)



パテントマップEXZ との連携

データの互換性があるため、「テキストマトリクスチャート」で抽出し、編集を加えた「課題語」、「解決語」を「パテントマップEXZ」で使用することができます。



導入用情報

動作環境	OS	Windows 10、Windows 11
	その他	必要ソフト：Microsoft .Net Framework 4.5.2、Excel (2016以上 もしくは Microsoft 365 ダウンロード版 (Excel 出力する場合))
	関連ソフト	DataAcross、パテントマップEXZ
サポート体制		AM9:00 ~ PM6:00
費用	導入費	Web 認証版:690,000円 (税別)
	ランニングコスト	保守費用 90,000円/年 (税別)
	その他	
その他・特記事項等		

インパテック株式会社

特許請求項分析支援ソフト クレームマップ

本社住所 〒 430-0803 静岡県浜松市東区植松町 1487-1

URL <https://www.inpatec.co.jp/>

担当部署 営業部
問合せ先 TEL 053-465-3555 FAX 053-411-0195 E-mail info@inpatec.co.jp

- 特許請求項単位で【特許請求の範囲】を正確に把握することに役立つツールです。
- ①各特許請求項単位でのキーワードによる権利相関度の判別
 - ②権利主張範囲を理解するための構成要件の抽出
 - ③特許請求項単位で複雑な請求項の相互の結びつき（特許網構築）を表示。
- 請求項を独立請求項と従属請求項に自動分類し、さらに従属請求項がどの請求項に関連しているかを自動振り分けします。
- 各特許請求項単位での検索などの処理が行えます。
- クレーム【特許請求の範囲】内のキーワードが構成要件であることを考慮して、数量語、ひらがな語、探索語などの取得に特別な工夫をし、クレームターム化しています。
- 各請求項から上位概念の「発明の種類（発明のカテゴリ）」を自動抽出します。
- キーワード、クレームタームの統合や分離などの修正が行えます。
- キーワードの属性（技術カテゴリ）が自動付与されます。
- 成分物性などの物性名称と物性数値範囲とによる数値検索ができます。

機能詳細

データ	解析対象	日本/米国				
	入力方法	CSV形式				
	処理可能最大案件数	推奨約 100 件	特徴	請求項単位でキーワードや構成要件での分析を行います。		
データの編集機能	検索（絞込み）機能	可	特徴	書誌情報など取り込んだ情報で自由に多角的に可能		
	データの追加・修正・削除	可	特徴	特許情報を追加する機能や、後から追加したい項目のみを追加する機能有り。また、修正や削除も容易に可能。		
	その他の編集機能	可	特徴			
解析項目	出願人	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	発明者	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	IPC	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	FI	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	CPC	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	技術用語	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	その他項目・項目の任意追加	元データにあるものは取り込み可能				
特許文献・参考文献サポート		無	特徴			
引用文献サポート		無	特徴			
特許価値評価機能		無	特徴			
AI活用サービス		無	特徴			
帳票出力	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	弊社のソフトより出力した CSV を利用して作成する事が可能		
	独自の作図機能の特徴	請求項を独立、従属クレームに判別				
データ出力	CSV出力	可	特徴	作成したマップのリストや、作成した集合の結果等を CSV 出力する事が可能		
	解析結果データの互換性	無	特徴			
	用語切り出し&索引化機能	有	特徴	単語だけでなく構成要件で切り出す事が可能		
その他の機能		・キーワードを高精度で自動抽出 ・属性（技術カテゴリー）の自動付与				
他のシステムとの連携	検索・DBシステム	可	種類	Shareresearch CyberPatent PatentSQUARE 等		
		その他・特記事項等				
分析ツール		不可	種類			
		その他・特記事項等				

‘特許請求項(以下クレーム)に書かれてある文書をクレーム単位に分解して、構成要素(a複数のキーワードまたはbキーワードが連なった意味のあるフレーズ単位の節を解析単位)として①クレーム権利相関度判別リスト②キーワードマトリクスマップ③キーワードランキングマップ④類似検索などの処理を行います。このソフトを使用すれば、今まで手作業で行っていた、いわゆる侵害調査または特許網構築作業などを合理化する事が出来ます。このツールは権利関係の分析をバックアップするものです。

詳細画面

独立請求項と従属請求項の自動判別

英語特許にも対応

キーワードと出現頻度を自動取得

構成要件を自動取得

主なマップ

導入用情報

動作環境	OS	Windows 10、Windows 11
	その他	必要ソフト：Microsoft.Net FrameWork4.5.2、Excel（2016 以上 もしくは Microsoft 365 ダウンロード版（Excel 出力する場合））
	関連ソフト	DataAcross、パットクレームクラスター
サポート体制		AM9:00 ~ PM6:00
費用	導入費	Web 認証版:690,000 円(税別)
	ランニングコスト	保守費用 90,000 円/年(税別)
	その他	
その他・特記事項等		

インパテック株式会社

特許情報データベース編集&活用ソフト Pat Easy Z

本社住所	〒 430-0803 静岡県浜松市東区植松町 1487-1
URL	https://www.inpatec.co.jp/
担当部署	営業部
問い合わせ先	TEL 053-465-3555 FAX 053-411-0195 E-mail info@inpatec.co.jp

このソフトは、技術開発に携わるエンジニア等の方のパーソナルデータベースとして特許情報を自由自在に活用できるように工夫されています。特許マップの基礎知識がなくても、マニュアル等を参照することもなく、直ちにマップ作成が出来る事を主眼に開発しました。

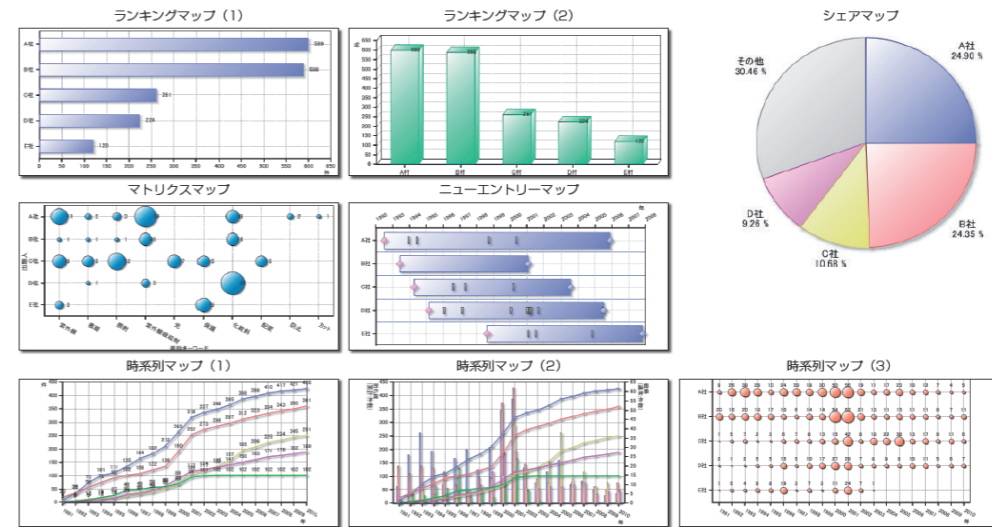
- ◎ データ取り込み機能が、かんたん
- ・ CSV データであれば、データベースの種類を問わず取り込みが可能
- ・ Unicode に対応！すべての文字データの取り込みが可能
- ・ 図面 HTML / 公報全文 HTML データの取り込みが可能 (一部 DB)
- ・ 日本語、英語、中国語 (簡体字) テキストデータからキーワードを自動取得
- ◎ パテントマップ作成が、らくらく
- ・ 自動作成機能を搭載
- ・ IPC/FI/F タームの説明を自動表示させる PatCode 機能を搭載
- ・ マップ上の特定特許群を指定して、更なるマップ展開が可能
- ◎ データの追加などの編集が、やさしい
- ・ 高機能なハイライト
- ・ 閲覧のみならず、技術分類付与 / コメント入力ができ、マップに反映可能
- ・ J-PlatPat へアクセスして全文全図閲覧でき、電子データ以前の出願の調査も可能
- ・ ページ送り / 図面送りが高速で可能

機能詳細

データ	解析対象	日本 / 米国 / 欧州 / PCT / 中国 / 韓国 / 独国 / 仏国 / 台湾 / 露国 / 伯国				
	入力方法	CSV 形式				
	処理可能最大案件数	推奨約 3 万件	特徴	処理最大件数制限 60 万件		
タの編集機能	検索 (絞込み) 機能	可	特徴	書誌情報やキーワード等、取り込んだ情報で自由に多角的に可能		
	データの追加・修正・削除	可	特徴	特許情報を追加する機能や、後から追加したい項目のみを追加する機能有り。また、修正や削除も容易に可能。		
	その他の編集機能	可	特徴	独自分類の付与		
解析項目	出願人	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	発明者	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	IPC	解析可	上限	無	上限値	0 備考 分類説明文表示機能
	FI	解析可	上限	無	上限値	0 備考 分類説明文表示機能
	CPC	解析可	上限	無	上限値	0 備考 分類説明文表示機能
	技術用語	解析可	上限	無	上限値	0 備考
	その他項目・項目の任意追加	F ターム・日付・番号・自社分類コード等	元データにあるものは解析可能			
特許文庫・参考文献サポート	無	特徴				
引用文献サポート	無	特徴				
特許価値評価機能	無	特徴				
AI 活用サービス	無	特徴				
帳票出力	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	弊社のソフトより出力した CSV を利用して作成する事が可能		
	独自の作図機能の特徴	二次マップの作成が容易に可能。また、特定の特許情報を選択し、リストを作成可能				
データ出力	CSV 出力	可	特徴	作成したマップのリストや、作成した集合の結果等を CSV 出力する事が可能		
	解析結果データの互換性	有	特徴	CSV 出力した結果を集約することが可能		
	用語切り出し&索引化機能	無	特徴			
その他の機能	IPC や FI 分類の日本語説明文表示機能、独自分類、コーディング機能を有する。特許マップ EXZ との互換性あり。					
他のシステムとの連携	検索・DB システム	可	種類	Shareresearch CyberPatent PatentSQUARE 等		
	分析ツール	可	種類	その他・特記事項等		

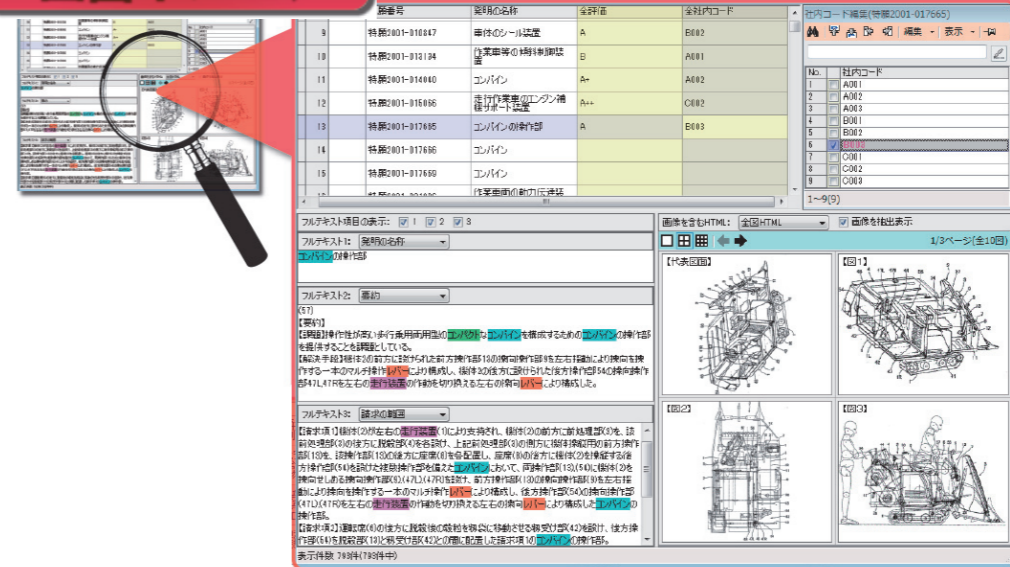
マップ例

特許マップEXZから使用頻度の高い主要なマップ機能を選出。オートでマップを作成する機能有り。特許マップEXZとのデータの互換性有り。



画面イメージ

特許情報を閲覧しながらキーワード・コメント・分類などを簡単かつ高速で入力が可能



導入用情報

動作環境	OS	Windows 10, Windows 11
	その他	必要ソフト: Microsoft .Net FrameWork 4.5.2, Excel (2016 以上 もしくは Microsoft 365 ダウンロード版 (Excel 出力する場合))
	関連ソフト	DataAcross, パテントマップ EXZ, テキストマトリクスチャート
サポート体制	AM9:00 ~ PM6:00	
費用	導入費	Web 認証版: 90,000 円 / 1ID (税別) (3ID 270,000 円 (税別) から)
	ランニングコスト	年間保守費用 10,000 円 / 1ID (税別)
	その他	
その他・特記事項等		

インパテック株式会社

他社侵害防止・調査・支援ツール
パットクレームクラスター

本社住所	〒430-0803 静岡県浜松市東区植松町 1487-1
URL	https://www.inpatec.co.jp/
問い合わせ先	担当部署 営業部 TEL 053-465-3555 FAX 053-411-0195 E-mail info@inpatec.co.jp

「パットクレームクラスター」は重要度やリスクを考慮して優先調査群を決めたり、実際に特許情報をチェックする担当者群を決めて効率的な侵害防止調査を行う事を支援するためのものです。

【特徴】
機械検索により大量に収集された特許群に含まれる複数請求項に対して、それぞれに含まれている発明の特徴を表現または限定しているキーワードをもとに発明のカテゴリに自動仕分けします。

機能詳細

データ	解析対象	日本/米国						
	入力方法	CSV形式						
タの編集機能	処理可能最大案件数	推奨処理件数 約1万件	特徴	処理最大件数制限は特に設けておりません。				
	検索(絞込み)機能	可	特徴	書誌情報やキーワード等、取り込んだ情報で自由に多角的に可能				
	データの追加・修正・削除	可	特徴	特許情報を追加する機能や、後から追加したい項目のみを追加する機能有り。また、修正や削除も容易に可能。				
解析項目	その他の編集機能	可	特徴	名寄せ、辞書機能有り				
	解析可能項目と上限値	出願人	解析可	上限	無	上限値	0	備考
		発明者	解析可	上限	無	上限値	0	備考
		IPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考
		FI	解析可	上限	無	上限値	0	備考
		CPC	解析可	上限	無	上限値	0	備考
		技術用語	解析可	上限	無	上限値	0	備考
	その他項目・項目の任意追加	発明のカテゴリ、代表分類データを自動的に付与						
特許文献・参考文献サポート	無	特徴						
引用文献サポート	無	特徴						
特許価値評価機能	無	特徴						
AI活用サービス	無	特徴						
帳票出力	市販ソフトの作図機能	利用可	特徴	弊社のソフトより出力したCSVを利用して作成する事が可能。				
	独自の作図機能の特徴							
データ出力	CSV出力	可	特徴	仕分けされた案件のリストや、検索した集合の結果等をCSV出力する事が可能				
	解析結果データの互換性	無	特徴					
	用語切り出し&索引化機能	無	特徴					
他のシステムとの連携	その他の機能	・クレームマップとの連携機能、データ互換性あり ・英語公報に対応・独立クレームのみの切り出しが可能						
	検索・DBシステム	可	種類	Shareresearch CyberPatent PatentSQUARE 等				
分析ツール		不可	種類					
		その他・特記事項等						

「パットクレームクラスター」の主な画面と処理の流れ

仕分けされた上位概念の発明のカテゴリに該当するクレームの割合が表示されます

機械的に取得された発明のカテゴリ

仕分けされた分類に該当するクレームであることを表しています

独立クレームであることを表しています

上位概念の発明のカテゴリ

No.	出願番号	出願日	公開/登録番号	発明の名称	請求項	該当	発明のカテゴリ	代表分類
106	PCT/JP2012/0818	2012/12/07	PCT/JP2012/0818	偏光板およびこれを用いた液晶表示装置	4	○	偏光板	偏光板
107					5	○	偏光板	偏光板
108					6	○	偏光板	偏光板
109					7	○	液晶表示装置	液晶表示装置
110	特願2011-270958	2011/12/12	特許5616318		2	○	偏光板の製造方法	偏光板
111					3	○	偏光板の製造方法	偏光板
112					4	○	偏光板の製造方法	偏光板
113					5	○	偏光板の製造方法	偏光板
114					6	○	偏光板の製造方法	偏光板
115					7	○	偏光板の製造方法	偏光板
116					8	○	偏光板	未分類
117					9	○	光学積層体	光学フィルム
118					10	○	光学積層体	光学フィルム
119					1	○	複合偏光板セット	偏光板
120	特願2011-271119	2011/12/12	特願2019-12250	複合偏光板セット、液晶パネルおよび液晶表示装置	2	○	複合偏光板セット	偏光板
121					3	○	複合偏光板セット	偏光板
122					4	○	液晶パネル	未分類
123					5	○	液晶表示装置	液晶表示装置
124								
125								

- リスクの高い公報から、事業化速度に合わせて調査
- 当該技術分野での特許リスクを回避

請求項毎にコメントの記入ができます

- 機能
- ・独立請求項のみに限定した処理ができます
 - ・上位概念の発明の種類(カテゴリ)に仕分けすることができます
 - ・英語公報に対応しています
 - ・請求項毎にコメントの記入ができます
 - ・利用者で辞書機能を強化できます
 - ・辞書はソフト利用者間で共有化できます
 - ・公報全文リンク閲覧が可能です
 - ・新規発生分公報の追加ができます

導入用情報

動作環境	OS	Windows 10、Windows 11
	その他	必要ソフト：Microsoft .Net FrameWork 4.5.2、Excel (2016以上 もしくは Microsoft 365 ダウンロード版 (Excel 出力する場合))
	関連ソフト	DataAcross、クレームマップ
サポート体制		AM9:00 ~ PM6:00
費用	導入費	Web 認証版:360,000円(税別)
	ランニングコスト	保守費用 60,000円/年(税別)
	その他	
その他・特記事項等		